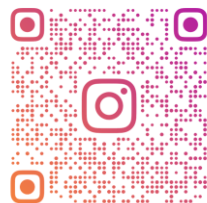


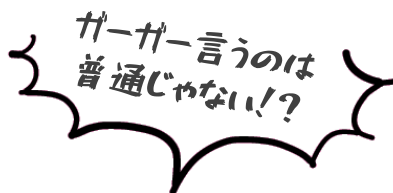


休診日
4・11・18・25
午前診療のみ
2・9・16・23・30

ホーム
ページ



ONODERA_ANIMAL_HOSPITAL



短頭種気道症候群

パグ、フレンチブルドッグ、チワワなどに代表される短頭種は鼻や気管の構造から様々な呼吸障害が起こりやすく、総称して短頭種気道症候群と呼びます。短頭種気道症候群は病気も含みますが、生まれ持った体の構造が問題になることが多いです。若い頃から発症し、呼吸のしづらさは生活の質を落としてしまいます。代表的な2つをご紹介します。

外鼻孔狭窄

鼻の穴がL字型になり、非常に狭くなっています。鼻呼吸がしにくいため口呼吸が中心になり、息が荒く、ガーガーといびきのような呼吸音を伴います

正常



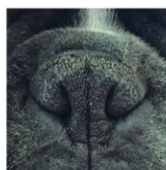
軽度の狭窄



中等度の狭窄

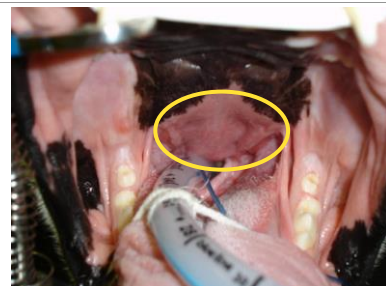


重度の狭窄



軟口蓋過長

軟口蓋は上顎の奥にある柔らかい部分です。軟口蓋が過剰に長く分厚くなり、幕のように垂れて気道を塞いでしまいます。外鼻孔狭窄もある場合、鼻呼吸も口呼吸もしにくく、努力呼吸、呼吸時の雑音、チアノーゼなどが見られます。



外鼻孔狭窄、軟口蓋過長は外科手術によって治療することができますが、お家での対策も非常に重要です！

涼しいうちに減量！

首回りや胸に肉がついてしまうと気道や呼吸の妨げになります。すでに肥満傾向にある場合は夏までにダイエットが必要です(暑くなったら運動は避けましょう！)

暑さや興奮を避ける！

夏場や異常な興奮後に急性の呼吸困難を起こすことがあります。酸欠で失神することもあります。呼吸による体温調節がしにくいため熱中症に陥りやすく、死亡する場合があります。緊急時に保冷剤を多めに用意しておきましょう。

お知らせ

狂犬病ワクチンは6月30日までの接種が必要です。
期間内に接種できなかった場合、自治体からお知らせが届く場合があります。
※7月以降も病院でワクチン接種を受けることができます

